

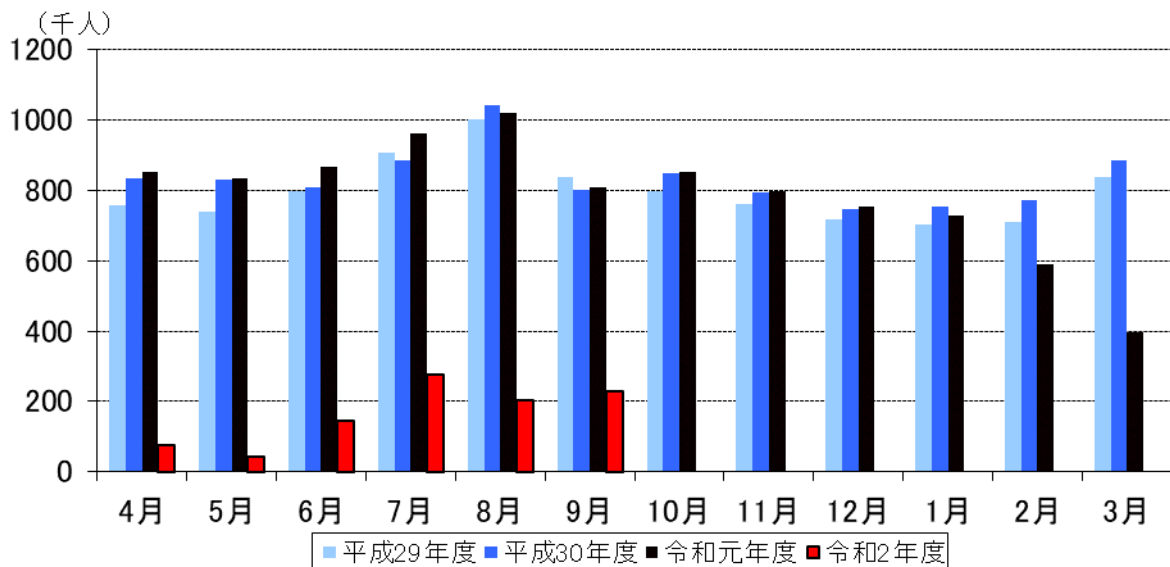
令和2年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和2年10月発表

令和2年度上半期 97万3,100人
対前年度(R1)比 -437万5,500人、-81.8%
減少数、減少率ともに過去最大

入域観光客数（国内+外国）

■月別入域観光客数の推移（平成29年度～令和2年度）



■令和2年度上半期入域観光客の状況（令和元年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和2年度	77,300	44,000	144,100	277,300	202,800	227,600	973,100
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-774,100	-790,900	-724,100	-686,300	-818,400	-581,700	-4,375,500
増減率	-90.9%	-94.7%	-83.4%	-71.2%	-80.1%	-71.9%	-81.8%

■令和2年度上半期の概況（総括）

令和2年度上半期の入域観光客数は、97万3,100人となり、対前年同期比で437万5,500人、率にして81.8%の減となり、減少数、減少率ともに過去最大となった。

国内観光客については、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、4月から5月にかけて国の緊急事態宣言による旅行自粛要請があったことなどから、前年同期を大きく下回った。

また、外国人観光客については、諸外国による日本への渡航制限や4月3日より海外から日本への入国制限措置がとられたことなどから皆減となった。

国内観光客についての動向

■令和2年度上半期国内観光客の状況（令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和2年度	77,300	44,000	144,100	277,300	202,800	227,600	973,100
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	-523,800	-522,500	-425,700	-383,500	-535,500	-363,000	-2,754,000
増減率	-87.1%	-92.2%	-74.7%	-58.0%	-72.5%	-61.5%	-73.9%

■国内観光客の概況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、4月、5月は国や沖縄県から緊急事態宣言が発出され、不要不急の旅行自粛要請があったこと、また、8月から9月上旬にかけては2度目の沖縄県緊急事態宣言が発出され県外からの慎重な渡航が呼びかけられたことなどから前年同期を大きく下回った。

下半期は、10月1日からGo Toトラベル事業の対象に東京都が追加されたことや10月25日から羽田、神戸ー下地島路線が新規開設されることなど明るい材料もある中、航空便の予約状況が改善する動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは旅行を控える動きが引き続き予想されることなどから、厳しい状況が予想される。

外国人観光客についての動向

■令和2年度上半期外国人観光客の状況（令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-250,300	-268,400	-298,400	-302,800	-282,900	-218,700	-1,621,500
増減率	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%

■外国人観光客の概況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4月3日以降、台湾、中国、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置がとられたことなどから上半期外国人客数は皆減となった。

下半期は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が当分の間、講じられることが見込まれることから、厳しい状況が予想される。